

東京
芸術
劇場
Tokyo
Metropolitan
Theatre

コンサートオペラ vol.1 バルトーク

青ひげ公の城

オフエンバック(ロザンタール編曲)/バレエ音楽「パリの喜び」
バルトーク/歌劇「青ひげ公の城」(コンサートオペラ形式)



指揮:井上道義
東京フィルハーモニー交響楽団
コヴァーチ・イシュトヴァーン(青ひげ公)
メラーズ・アンドレア(ユーディト)
仲代達矢(吟遊詩人)



東京芸術劇場コンサートホール

2013 9/13 (金) 19:00開演 (18:00ロビー開場)

全席指定 S ¥6,500 A ¥5,500 B ¥4,000 C ¥3,000 D ¥2,000

5月21日(火)発売

主催:東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)
<http://www.geigeki.jp/>
※未就学児の入場はお断りいたします。
※やむを得ぬ理由により曲目等変更の可能性がございますのでご了承ください。

A Kékszakállú herceg vára

コンサートオペラ vol.1 バルトーク

青ひげ公の城

2013年9月13日[金]
19:00開演(18:00ロビー開場)



©OrchestraEnsembleKanazawa

青ひげ公の世界 — 井上道義

「青ひげ公の城」は全ての男性の中に存在している記憶の城。

男なら誰もが思う事・・・同じ人間でありながら大いに違う生き方をしている・ら・し・い・女性の持つ記憶と、男のそれとの違いが主題。最近では女性パワーが男より勝るといふ平和な時代だ。アマゾネス神話を別とすれば戦争は男の特許であり続けた事を歴史が証明している。中東周辺で今も果てしなく起こっている宗教がらみの戦争は、過去の記憶を消すことができない、「男性的記憶装置」のなせる結果かもしれない。大げさに問題をすり替えなくても、青ひげ公の城の中、幾つかの部屋に蓄積されているような人々の過去の記憶は、今では、厚い本を読んだり、探し回る努力なしに、誰でもがすんわり得られるお手軽な「電子情報」として、お手軽に思い出すことを可能としている。忘れれば良いような過去の情報さえも、何回も目の前にあたかも昨日の出来事のように再生されてしまう。

過去と現在は別で過去の愛と今の愛は同時には両立しないし、それが同時に結び合わされるのは、音楽や舞台上など、芸術の世界でだけだ・・・というのが女性的記憶回路。そんな、男から見れば人間とは思えない、切り替えと割り切りの「上書き機能付き記録回路」を持つのが女性。

しかしそこがいとおしく、可愛く感じられる原因であることが我々青髯には恨めしい。



コヴァーチ・イシュトヴァーン/青ひげ公(バス) István Kovács, Bass

1972年生まれ。ハンガリーのバス、コヴァーチは、フランツ・リスト音楽学校に学んだ後、ハンガリーを代表するバスとして知られるラズロ・ボルガーに師事した。ザルツブルク・モーツァルト国際コンクールをはじめ、数々のコンクールに入賞。1999/2000シーズンには、トリノ王立歌劇場に招かれ、『放蕩者のなりゆき』『ヴォツェック』『ランメルモールのルチア』などに出演した。以来オペラでは、『ドン・ジョヴァンニ』タイトルロール、『皇帝ティートの慈悲』『トスカ』『トゥーランドット』『午後の曳航』などに出演。コンサートの活躍もめざましい。2009/10シーズンは、ロッシーニ『ランスへの旅』『マホメットII世』、ヴェルディ『レクイエム』などに、2010/11シーズンは、メンデルスゾーン『エアリア』、『カルメン』、『マタイ受難曲』、リリング指揮『ミサ曲口短調』などに出演。I.フィッシャー指揮『青ひげ公の城』でタイトルロールを歌った。



メラース・アンドレア/ユーディット(メゾソプラノ) Meláth Andrea, Mezzo Soprano

リスト音楽院をディプロマで卒業後、ハンガリー国内および外国で多数のフェスティバルに出演。1999年にウィグモアホール国際声楽コンクール第3位を受賞。1998年からハンガリー国立歌劇場に定期的に出演している。2001年にはハンガリー文化省からリスト音楽賞、国立歌劇場からベストヤングアーティスト賞を受賞。2001年以降、ユーディット(青ひげ公の城)役でグラスゴー、マレーシア、パレルモ、ロンドン、アムステルダム、ブカレスト等ヨーロッパ各都市に出演。2009年にはシュトゥットガルト国立歌劇場に同役でデビュー。またR.シュトラウス『ばらの騎士』(オクタヴィアン)、ヘンデルのセルセ、J.シュトラウス『こもり』(オルロフスキー)、で数々の劇場に出演。コンサートソリストとして、Z.コチシュ、I.フィッシャー、J.シモノフ等と共演。2007年バルトーク音楽賞を受賞。2011年にはシュトゥットガルト国立歌劇場でプーランク『カルメル会修道女の対話』に出演。ユーディット役でフィンランド、サヴォリンナ夏の音楽祭、ニース歌劇場、NHK交響楽団定期演奏会(C.デュトワ)に出演。ナクソスからはバルトーク歌劇『青ひげ公の城』(ユーディット)、フンガトロンレーベルから数々のCDをリリースしている。



仲代達矢/吟遊詩人 Tatsuya Nakadai, Minnesänger

1932年東京生まれ。俳優座養成所を経て、1975年無名塾設立。舞台「ハムレット」「マクベス」「オセロ」「リチャード三世」他多数に出演。その間、芸術選奨文部大臣賞、毎日芸術賞、紀伊国屋演劇賞、05年「ドライビング・ミス・デイジー」で芸術祭大賞(作品賞)等受賞。映画では小林正樹監督「人間の条件」、「切腹」等、黒澤明監督「用心棒」「天国と地獄」「影武者」「乱」他。その他、市川崑、木下恵介、成瀬巳喜男、岡本喜八、山本薩夫、勅使河原宏監督など巨匠作品に主演。ブルーリボン賞などの主演男優賞受賞多数。2010年小林政弘監督「春との旅」。出演映画は米国アカデミー賞と世界三大映画祭(カンヌ・ヴェネチア・ベルリン)のすべてで受賞。近年では、小林政弘監督「日本の悲劇」(日本未公開)、齊藤潤一監督「約束 名張毒ぶどう酒事件 死刑囚の生涯」に出演した。

TICKET

東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296 <http://www.geigeki.jp/t/>

チケット取扱

イープラス

<http://eplus.jp/>

チケットぴあ

0570-02-9999 [Pコード:199-213]

ローソンチケット

0570-000-407 [Lコード:38612]

東京文化会館チケットサービス

03-5685-0650 <http://www.t-bunka.jp/>

主催:東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)

お問合せ:東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296 (休館日を除く 10:00~19:00)